

やわらソレイユ（児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・生活介護） 職場環境要件と取組内容

区分	職場環境要件項目	取組内容
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人や事業所の経営理念や支援方針、その実現のための施策・仕組みを明確化し、ホームページやパンフレットで公表している。
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	高い専門性を活かすことができるよう併設する他の事業所と共同による採用・兼務制度を実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら国家資格等の取得を目指す者に対する研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家資格の生涯研修制度、サービス管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修等の業務関連専門技術研修の受講支援等	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修及び相談支援従事者研修における受講費を全額支給している。 業務に関連する研修の受講費を補助する福利厚生制度を実施している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	毎年3月に面談を行い、キャリアアップや働き方等に関する定期的な相談の機会を確保している。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の希望に応じて柔軟に勤務シフトの調整を行っている。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる	有給休暇を取得しやすいよう複数担当制とし、常に職員間で情報共有しながら業務を行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	常勤・非常勤に関わらず、すべての職員が受診可能な定期健康診断を実施している。
	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	経験豊富な理学療法士による身体の負担軽減のための介護技術に関する相談体制を構築している。 移乗や入浴をサポートする電動リフトを導入している。
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	生産性向上委員会を設置し、現場の課題の見える化を実施している。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	業務支援ソフトやICT連携ツールを活用し、文書作成や情報共有における業務負担の軽減を図っている。
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	業務支援ソフト、パソコン、スマートフォン端末、タブレット端末を導入している。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入	特殊浴槽を導入し、入浴支援における業務効率化を図っている。 職員間の連絡調整を迅速化するため、ICT連携ツールを導入している。
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取り組みの実施	併設する他の事業所と共同による各種委員会の設置、各種指針・計画の策定、ICTインフラ（IP電話・サーバー）の整備を実施している。
やりがい・働きがいの構成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	定期的にミーティングを開催し、各職員が意見を出し合いながら支援内容の改善を図っている。
	地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進のための、モチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	定期的に地域イベントを開催し、インクルージョン推進のための取組を実施している。